

平成30年度

事務事業評価表 A（平成29年度の実績評価）

記入年月日  
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		5歳児健康相談		事業区分		担当	
				新規/継続	新規	事務事業No.	010203000985
政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	040401
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進		主要事業		健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		市長マニフェスト			
	施策名	02 健康づくりの推進		未来PJ事業		グループ	
	手段名	03 ③母子支援体制の充実		合併建設計画事業		母子	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	04	01	01	00	00	
法令根拠		母子保健法		単年度繰返し（平成29年度～）		期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
対象は年度中に5歳児になる児。会場は岩瀬福祉センターで毎月1回実施。内容は、問診、身体計測、集団遊び、歯科指導、栄養相談、育児相談、心理相談を実施。健康相談終了後、要医療、経過観察となった児に対して支援する。	対象者への案内通知 事業運営 台帳管理、実績報告書作成 要医療、経過観察者に医療機関や療育機関、教育機関への紹介 未参加者への受診勧奨

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
事業内容の企画検討、対象者の選定および個別通知、当日の運営、相談終了後、経過観察が必要な児、未参加者への対応。実績報告書の作成。	5歳児健康相談受診者数	人	0.00	263.00	225.00	225.00	225.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市内の満5歳～6歳未満児	5歳児健康相談対象者数	人	0.00	299.00	248.00	248.00	248.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
子どもの成長・発達が確認できる。	5歳児健康相談受診率	%	0.00	88.00	90.00	90.00	90.00
	5歳児健康相談で要医療・要精密となった児の数	人	0.00	7.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	458	1,032
	事業費計（A）	千円	0	458	1,032	647
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	5.00人	5.00人	
	述べ業務時間	時間	0.00	100.00	100.00	
	人件費計（B）	千円	0	293	293	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	751	1,325	

29年度事業費 実績（千円）		30年度事業費 予算（千円）		
01 報酬	94	01 報酬	125	
08 報償費	120	08 報償費	120	
11 需用費	4	13 委託料	787	
13 委託料	240			
合計		458	合計	1,032

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	5歳児健康相談	事務事業No.	10203000985	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 幼稚園や保育所の集団生活の場に入り特徴が顕著化してくる発達障害は3歳児健診では発見されにくく、支援につながらないまま就学を向かえ、学童期において二次的の不適応を引き起こすことが多い。子どもや保護者が安心して就学を向かえ、適切な支援を受けられる体制を構築する。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 就学前に健診の機会があることで、子どもが心身共に成長しているかみれる機会があつてよい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	発達・養育状況において、早期治療、療育が必要な子どもへの支援。また、子育て支援や育児不安の軽減を図ることで、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	母子保健法第13条に基づき実施している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	各乳幼児健診受診率と比較し受診率が低く改善の余地はある。また、事業内容の見直しや教育関係機関とのさらなる連携をはかることで、要医療、療育の必要な子どもへの対応について、きめ細やかな支援を行っていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	疾病の早期発見、早期療育に繋がらなくなる可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	医療機関等への委託も考えられるが、経費がかかる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	臨床心理士や歯科衛生士等の専門職種を配置することでよりきめ細やかな支援と結びつく。事業の精度を高めて行くうえでも削減は難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	対象者に個別通知している。また、未受診者へは、次回受診できることを案内し機会をもうけている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	平成29年度より開始した事業である。他の健診と比較し受診率が低い。今後は、要医療、療育支援の必要があるお子さんが早期に支援に繋がるよう、事業内容の見直し、教育機関や療育機関との更なる連携を図っていく必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
事業に関わる専門職の確保が難しい。 5歳児は、教育保育施設に通っている率も高く、健診の欠席に繋がる傾向要因として考えられる。保護者への受診勧奨と、教育保育施設にも協力を得ていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>